

2023 年度 スバル学院本巣校

自己点検・評価票

2024 年 5 月 31 日現在において、下記項目に基づき自己点検を行い、これを 3 段階で評価するものとする。

評価方法

【3 段階評価】

A:達成されている

B:ほぼ達成されているが、一部改善が必要である

C:達成されていない

※1.1 は、別紙「日本語教育期間告示基準適合状況点検表」に基づき点検を行い、適合しているか確認できたら[]欄に「✓」を記入。

日本語教育機関名： スバル学院本巣校	
2. 入学者の募集	評 価
2.1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。	A B C
2.2 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	A B C
まとめ：2-2 について、年に一度募集担当者会議を開き海外募集代理人の評価に加えている。	
3. 入学者選考	
3.1 入学者の選考に関し、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。	A B C
3.2 入学者の選考に当たっては、学校関係者（職員等）が面接等を行うよう努めている。	A B C
まとめ：入学者の選考に関し根拠資料で確認することができている。面接においても日本語能力だけでなく、いろいろな角度から選考を行えている。	
4. 納付金	
4.1 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。	A B C
4.2 関係諸法令に基づいた学費返還規程を定め公開している。	A B C
4.3 上記 4. 1 及び 4. 2 については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。	A B C
まとめ：4-2 について、更に詳細な返還規定を定める必要あり。	
5. 学生支援	
5.1 日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。	A B C
5.2 進路指導を適切に行っている。	A B C
5.3 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。	A B C
5.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A B C

5.5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A <input checked="" type="radio"/> B C
<p>まとめ：2023年度から少しずつ地域ボランティア活動や学校外での取組みが増えており、学生が日本社会を理解する取組みを徐々に行えるようになったことは良かった点である。入管法上の留意点をどのように学生に理解させるかは今後の課題である。5.2：事務職員の協力を得、進学以外の進路志望者にも対応できるようになった。</p>	
6. 教員	
6.1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
6.2 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施すると共に、他機関の実施する研修会等への参加を促している。	<input checked="" type="radio"/> A B C
6.3 教員評価を適切に行っている。	A <input checked="" type="radio"/> B C
<p>まとめ：6.3：数年前から教員評価表の改定に取り組み始め、現在も継続中。</p>	
7. 教育活動	
7.1 理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。	<input checked="" type="radio"/> A B C
7.2 授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
7.3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
7.4 授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。	<input checked="" type="radio"/> A B C
7.5 理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
7.6 授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。	A <input checked="" type="radio"/> B C
<p>まとめ：7.6：6.3と合わせこちらも評価表の改定を継続中。</p>	
8. 教育施設	
8.1 教室内は十分な照度があり換気がなされていると共に、語学教育に必要な遮音がなされている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
8.2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。	A <input checked="" type="radio"/> B C
8.3 法令上必要な設備等を備えている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
<p>まとめ：施設設備に関しては問題ないが、自習室の確保に今後も努めていく。</p>	
9. 安全・危機管理	
9.1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	<input checked="" type="radio"/> A B C
9.2 感染症発生時の措置を定めている。	<input checked="" type="radio"/> A B C
9.3 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法等を定め、教職員及び学生に周知している。	A <input checked="" type="radio"/> B C
<p>まとめ：感染症発生時の措置を定めており、少しずつその時々への対応の変化に応じて措置も変えていつている。定期的な防災訓練を行い、教職員及び学生に周知をしていくよう努めている。</p>	
10. 法令の遵守等	
10.1 法令遵守に関する担当者を定めている。	A <input checked="" type="radio"/> B C
10.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	A <input checked="" type="radio"/> B C

10.3 個人情報保護のための対策をとっている。	A B C
10.4 入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A B C
まとめ：10.2 および 10.3 に関しては、職員に定期的な研修を積極的に行っていきたいと考えている。身近なところから改善を促していけるよう努力している。	

点検・評価日：2024年5月31日

実施責任者：事務局長 宇野 真紀子